

吹田市子ども計画策定に関するアンケート【高校生以上】集計

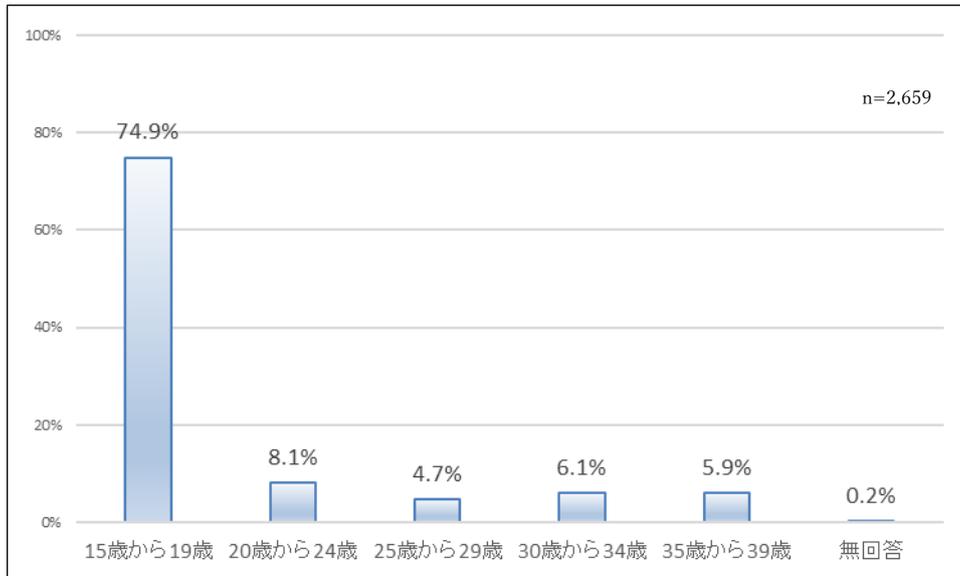
調査の概要

- 1 調査目的 子供・若者の意見を聴いて、吹田市子ども計画の作成に活用します。
- 2 対 象 15歳～39歳
- 3 回答数 2,659人（回答方法は、電子申込みシステム）
- 4 調査期間 令和6年1月9日（火）～令和6年2月29日（木）
- 5 調査項目 基本情報 問 1～5
意識・生活関係 問 6～18
居場所 問 19～21
相談 問 22～27
その他 問 28
- 6 調査方法 電子申込システム・紙
- 7 周知方法 吹田市ホームページ、LINE、すいたんX（旧twitter）、吹田市 Facebook
市内公立高校5校、市内私立高校3校、市内大学5校、
夢つながり未来館、子ども・若者支援地域協議会
青少年指導員会、青少年対策委員会、地域教育協議会
教育委員会、社会教育委員会、市内公共施設、市内阪急電車駅
- 8 参考・引用 こども・若者の意識と生活に関する調査（内閣府）
こどもの居場所づくりに関する調査研究（こども家庭庁）
- 9 その他 ・本文中の「n」は、その質問に対する回答者数を指す。
・回答率（各回答の百分比）は、小数点以下第2位を四捨五入する。

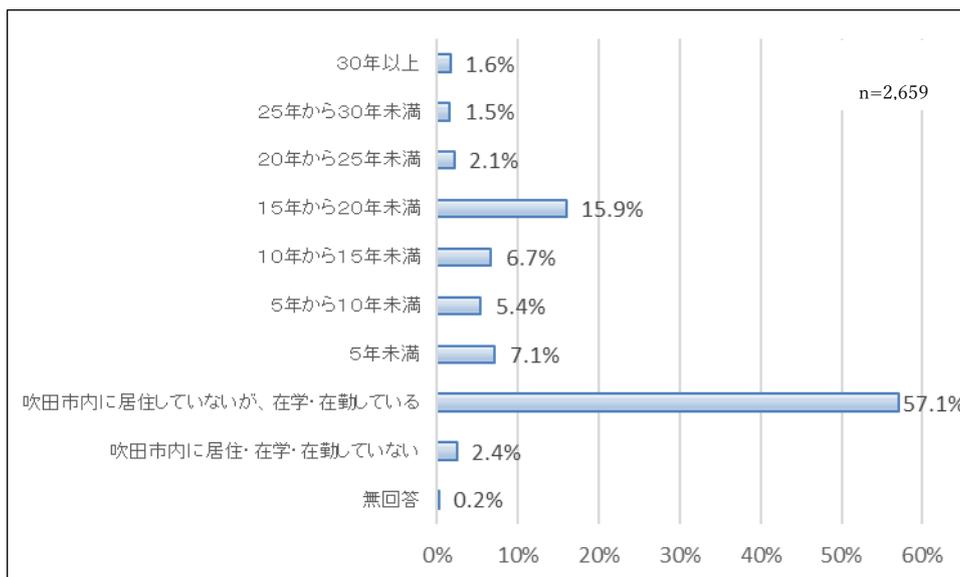
基本情報

問1 年齢

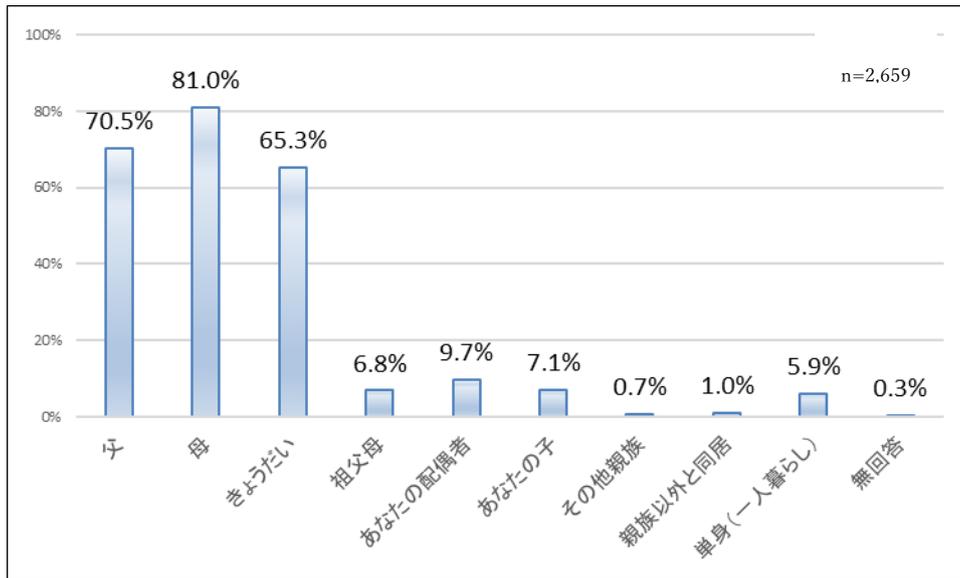
あなたは、現在、何歳ですか。満年齢で選んでください。



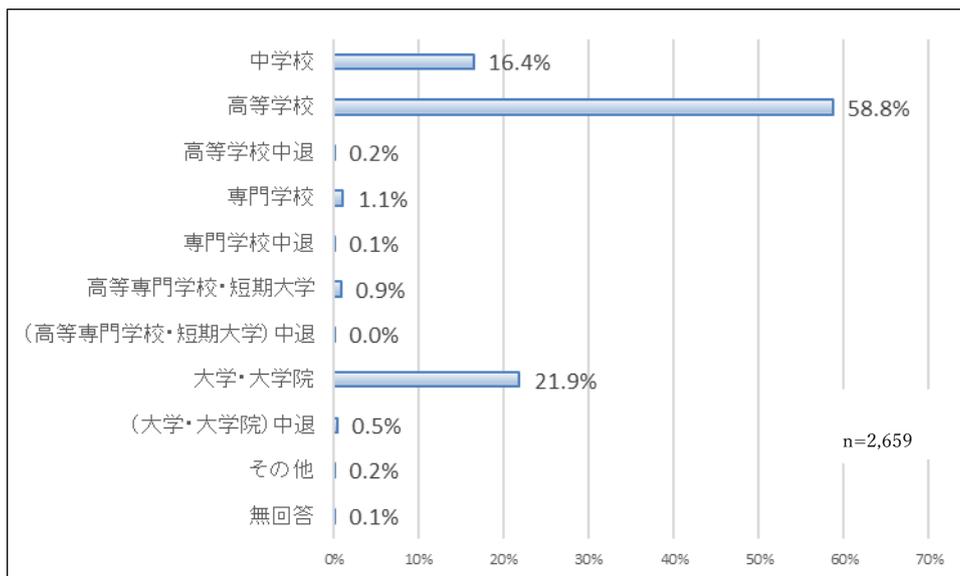
問2 あなたは、吹田市に住んで(通算)何年になりますか。



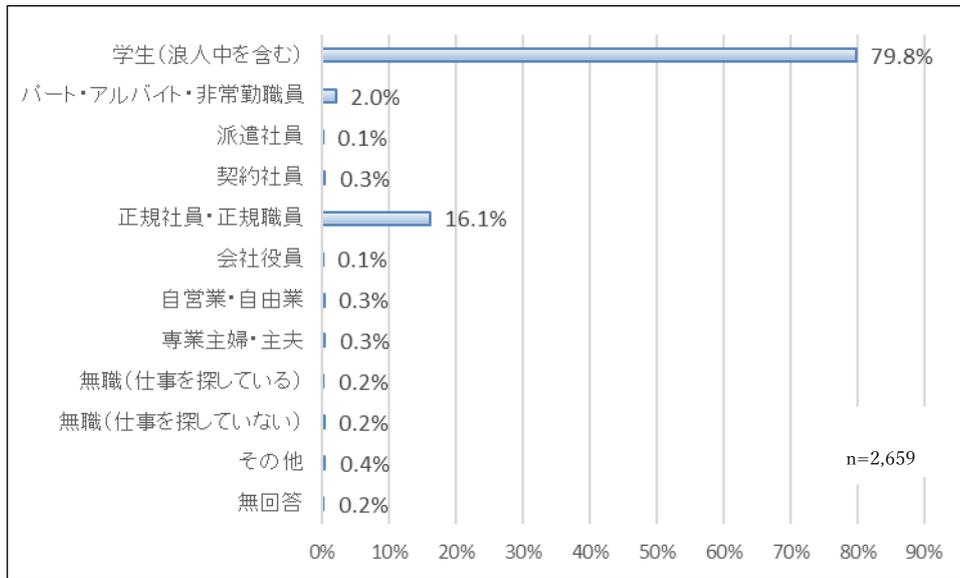
問3 あなたは、今、誰と一緒に住んでいますか。(複数回答可)



問4 最終学歴【現在在学中又は最後に卒業・中退した学校区分】

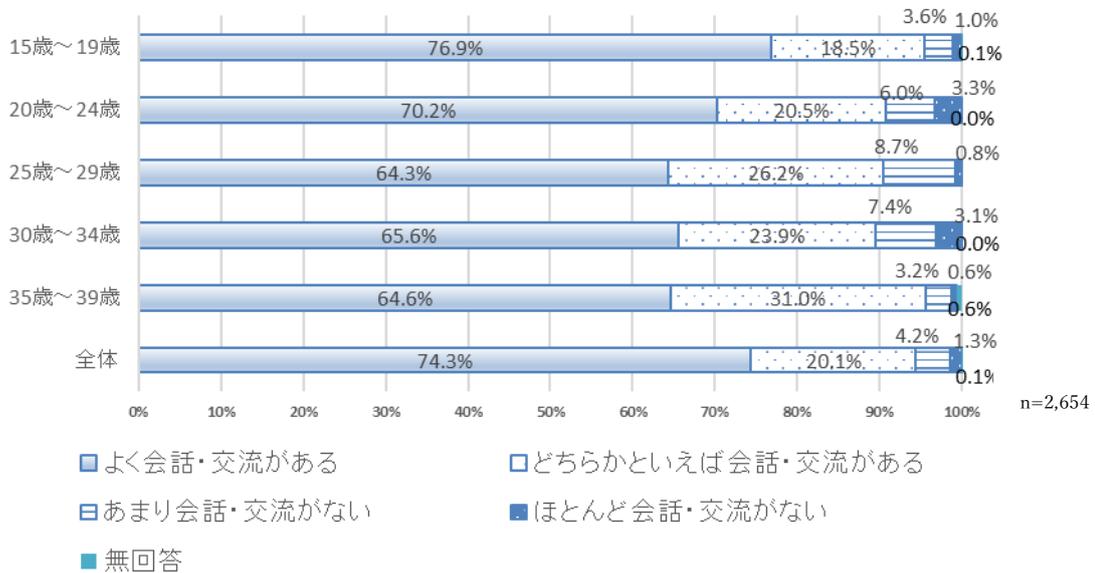


問5 現在の主な仕事を教えてください。



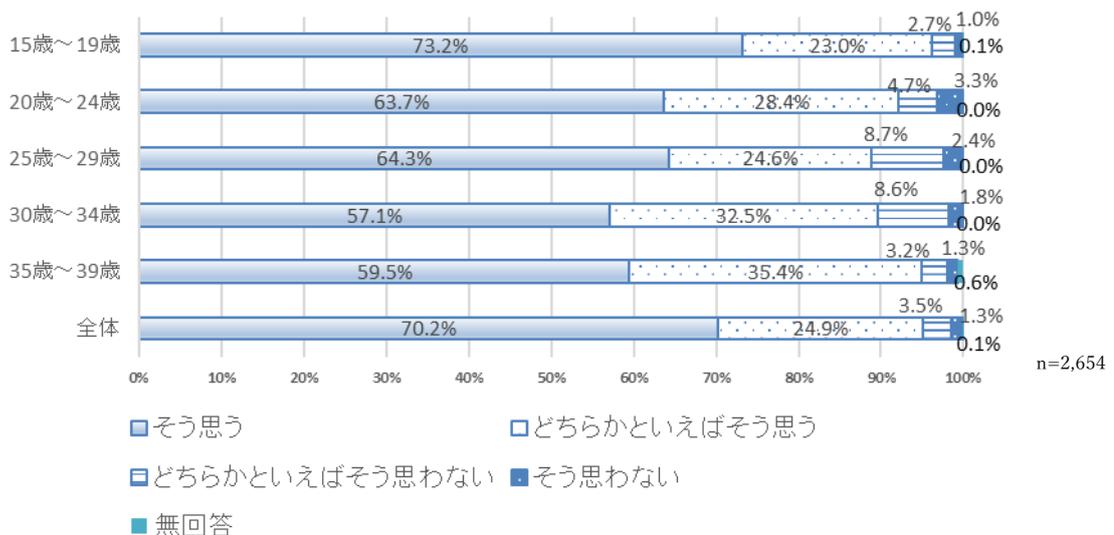
意識・生活関係

問6 誰かと（家族・親族、学校・職場、地域の人・近所の人等）会話や交流等がありますか。



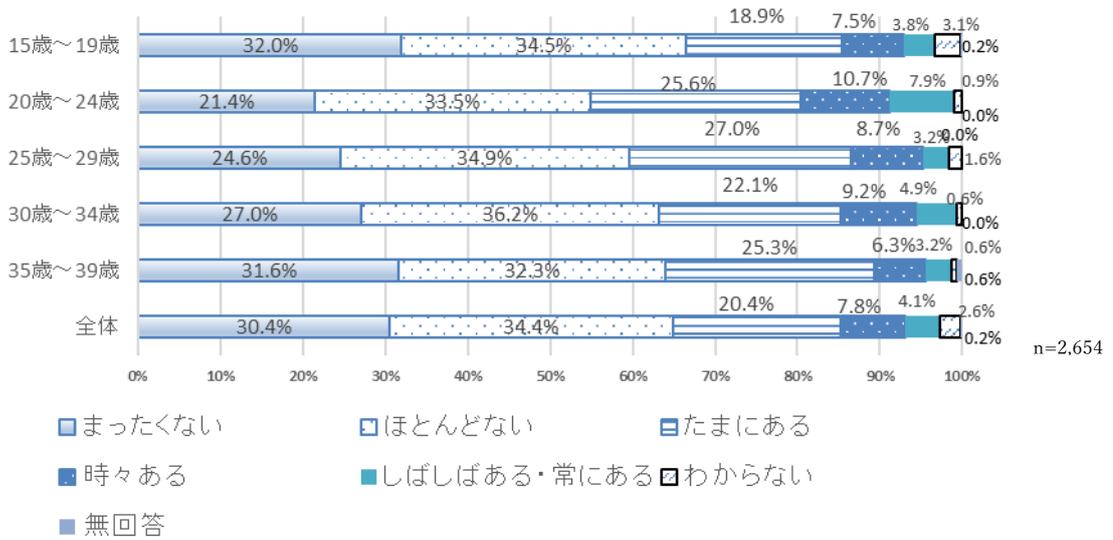
“誰かと（家族・親族・学校・職場・地域の人・近所の人等）会話や交流等はあるか”について、『会話・交流がある』（「よく会話・交流がある」＋「どちらかといえば会話・交流がある」）という回答者は、どの年代においてもおおむね9割を上回っている。「よく会話・交流がある」については、15歳～19歳において、最も高く76.9%となっている。

問7 誰か（家族や親族、学校・職場、地域の人・近所の人等）困ったときに助けてくれると思いますか。



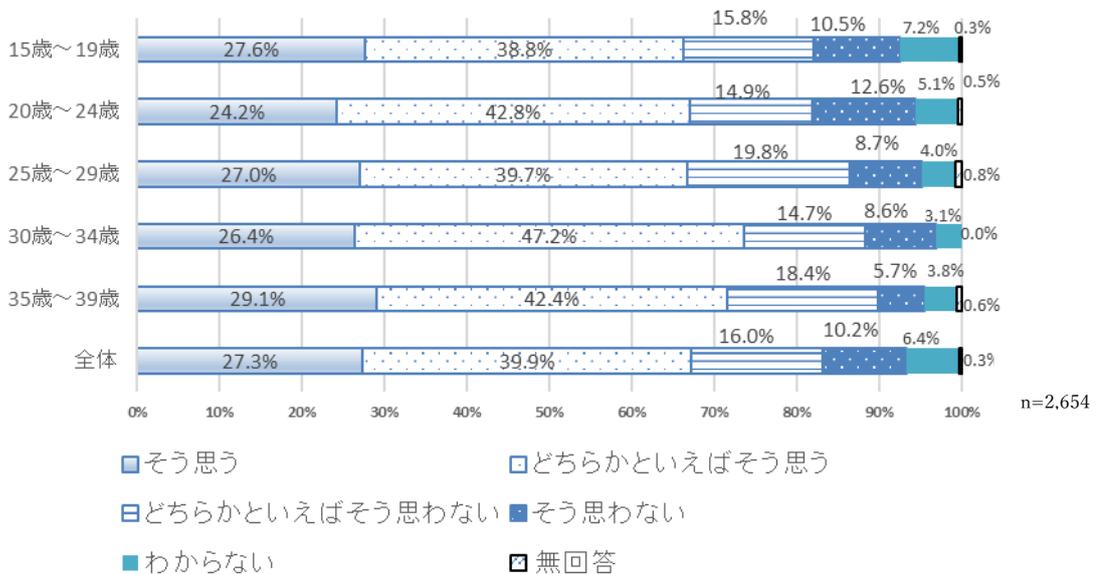
“誰か（家族・親族・学校・職場・地域の人・近所の人等）困ったときに助けてくれると思うか”について、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）と回答したのは、15歳～19歳において最も高く、96.2%となっている。

問8 あなたは孤独であると感じることがありますか。



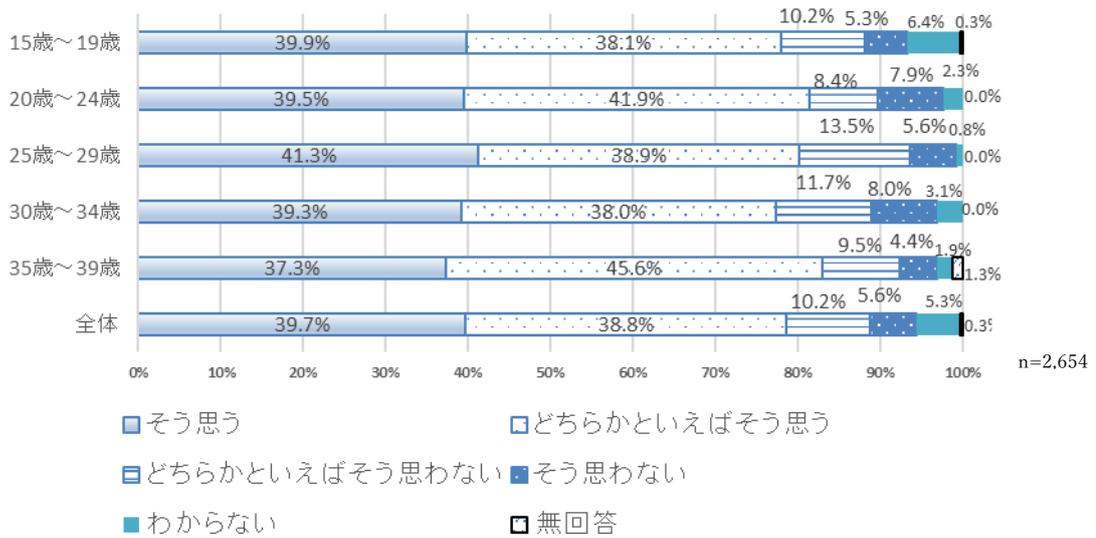
“孤独であると感じることがあるか”について『ない』（「まったくない」＋「ほとんどない」）と回答した人は、15歳～19歳で66.5%、20歳～24歳で54.9%、25歳～29歳で59.5%、30歳～34歳で63.2%、35歳～39歳で63.9%となっており、15歳～19歳が最も高くなっている。

問9 今、自分のことが好きですか。又は、ありのままの自分でよいと思いますか。



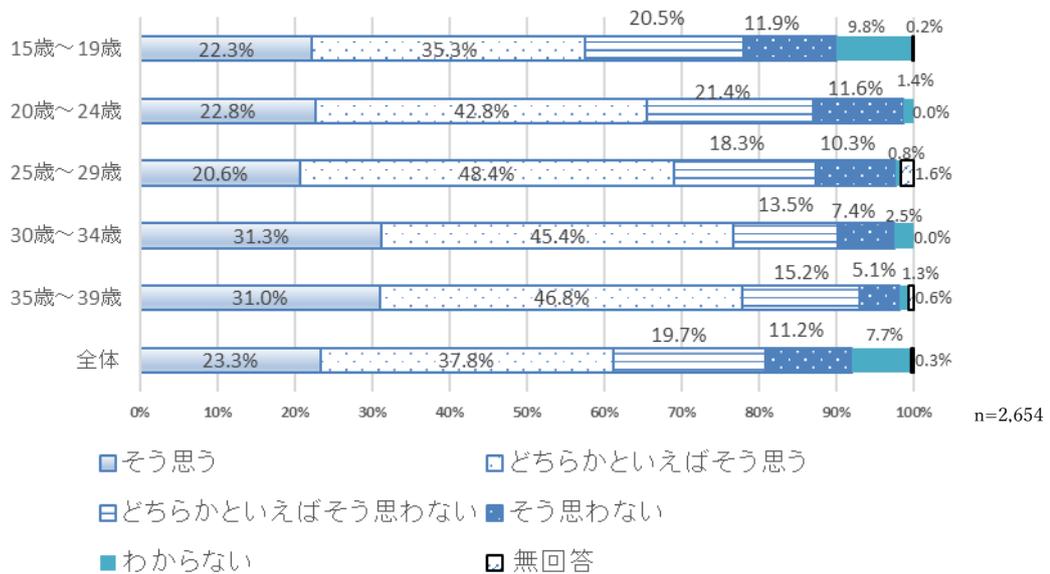
“自分のことが好きか、ありのままの自分でよいと思うか”について、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）という回答者は、いずれの年齢層でも6割を超えており、30～34歳で最も高く、73.6%となっている。

問10 自分には自分らしさがあると思いますか。



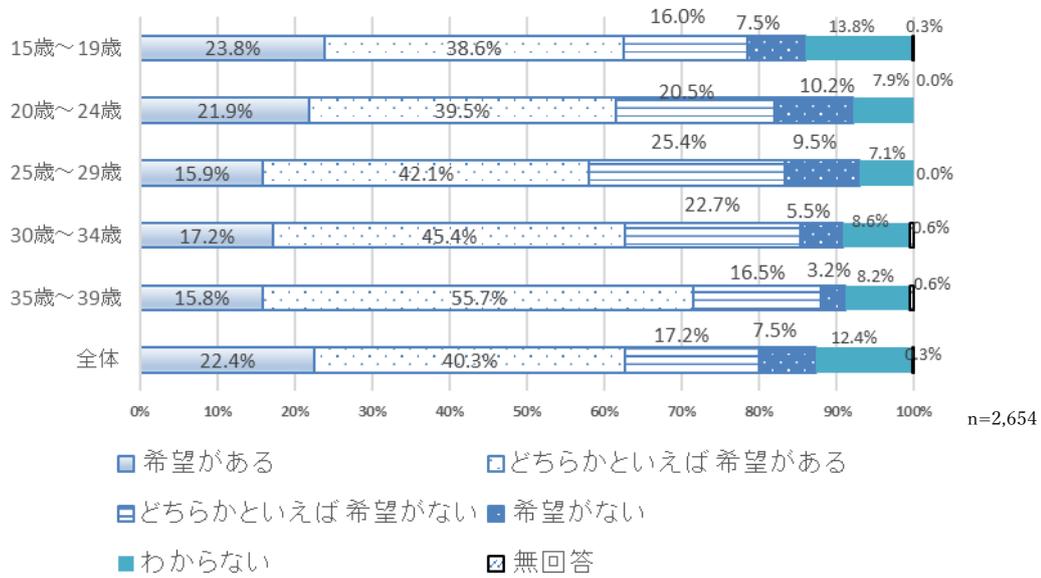
“自分には自分らしさがあるか”について、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）という回答者は、15歳～19歳で78.0%、20歳～24歳で81.4%、25歳～29歳で80.2%、30歳～34歳で77.3%、35歳～39歳で82.9%となっており、35歳～39歳が最も高くなっている。

問11 自分には社会で生きていく力があると思いますか。



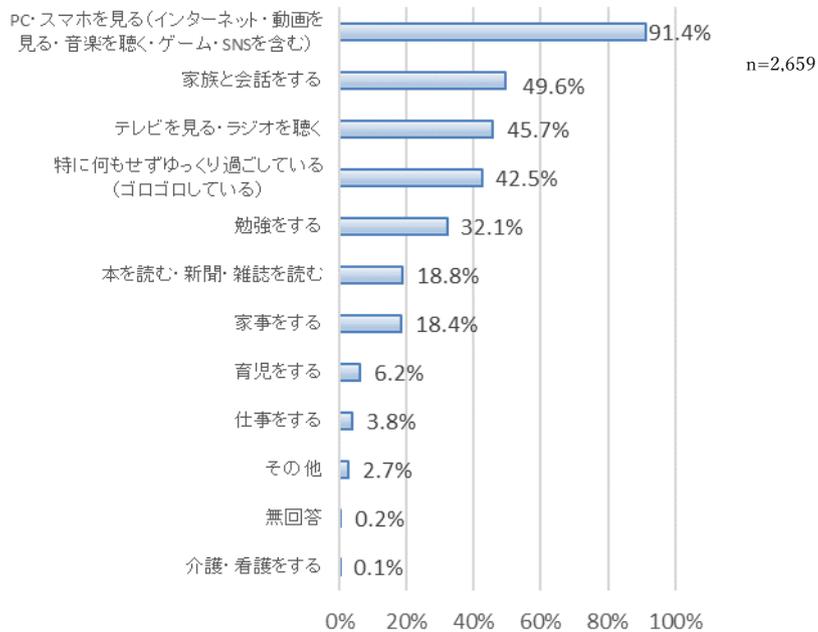
“自分には社会で生きていく力があると思うか”について、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）という回答者は、15歳～19歳で57.6%、20歳～24歳で65.6%、25歳～29歳で69.0%、30歳～34歳で76.7%、35歳～39歳で77.8%となっており、35歳～39歳が最も高くなっている。

問12 自分の将来について明るい希望がありますか。



“自分の将来について明るい希望があるか”について、『希望がある』（「希望がある」＋「どちらかといえば希望がある」）という回答者は、35歳～39歳が最も高く、71.5%となっている。

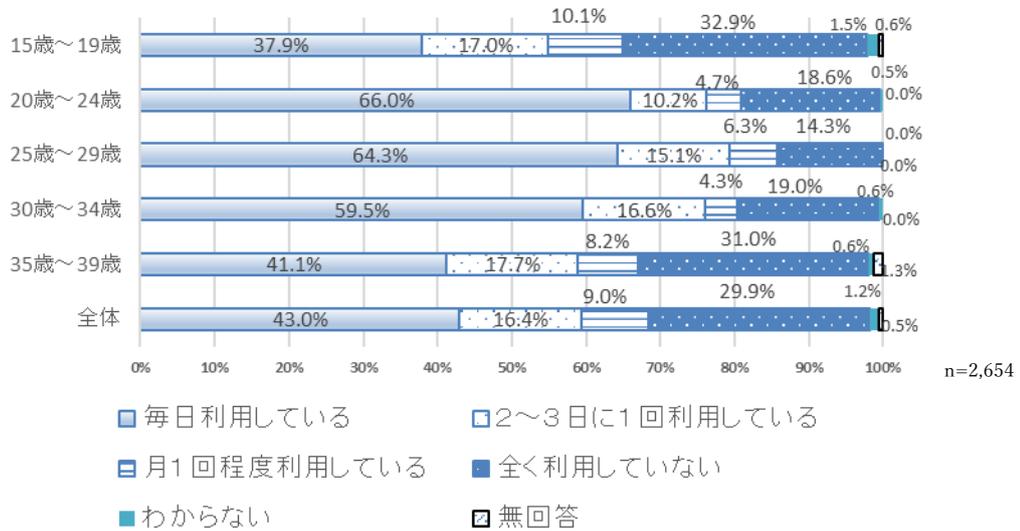
問13 家（暮らしている場所）にいるときは、どんなことに時間を使っていますか。よくしていることを教えてください（複数回答可）。



“家（暮らしている場所）にいるときによくしていること”については、「PC・スマホを見る（インターネット・動画を見る・音楽を聴く・ゲーム・SNSを含む）」が91.4%で第1位にあげられ、以下「家族と会話をする」（49.6%）、「テレビを見る・ラジオを聴く」（45.7%）などの順となっている。

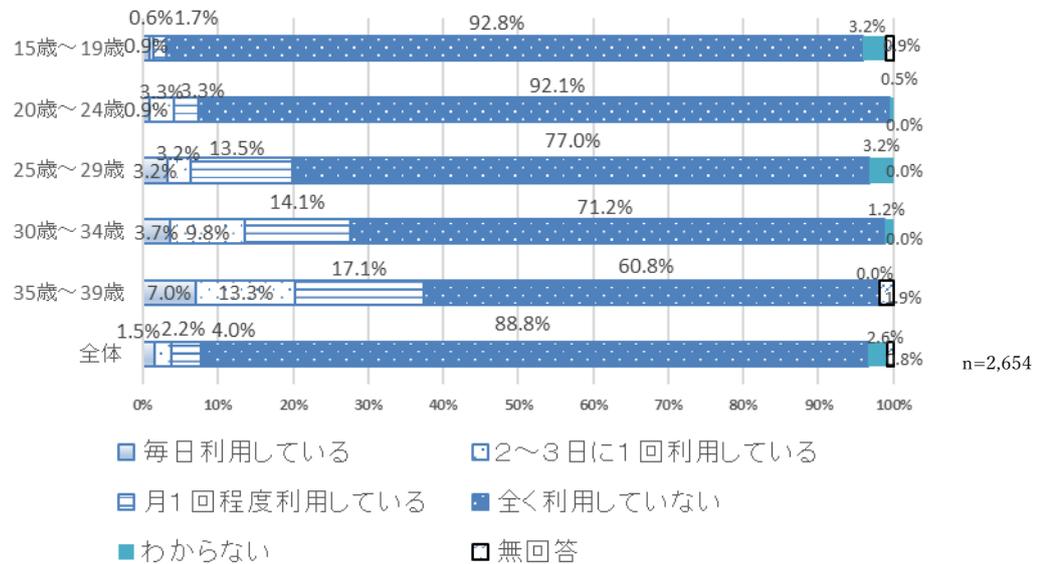
問 14 次のソーシャルネットワーキングサービス(SNS)をどのくらい利用しますか（見るだけでも含む）。

X (旧 twitter)



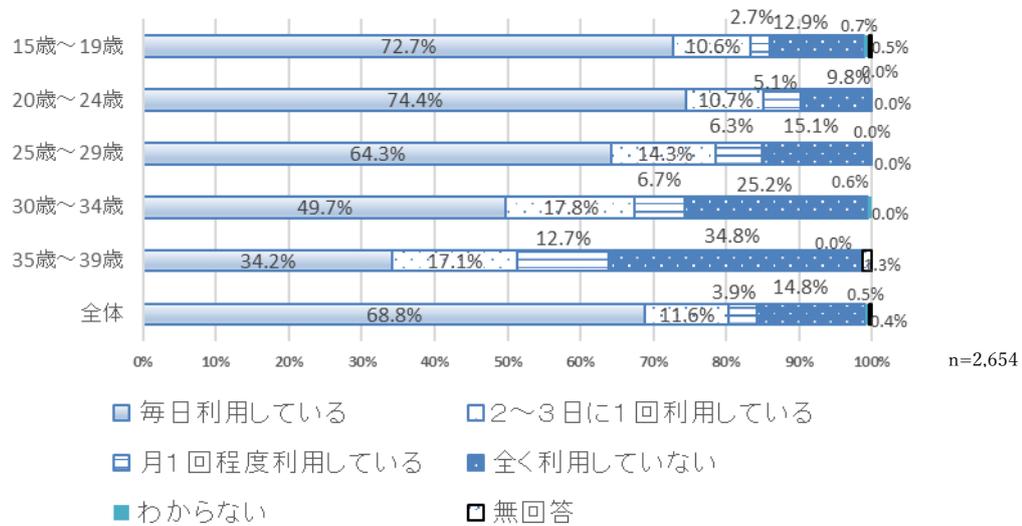
X (旧 twitter) の利用については、全体では「毎日利用している」が43.0%、「2～3日に1回利用している」が16.4%、「月1回程度利用している」が9.0%、「全く利用していない」が29.9%となっている。年齢別にみると、20歳～24歳の年代において、「毎日利用している」が最も多く66.0%となっている。

Facebook



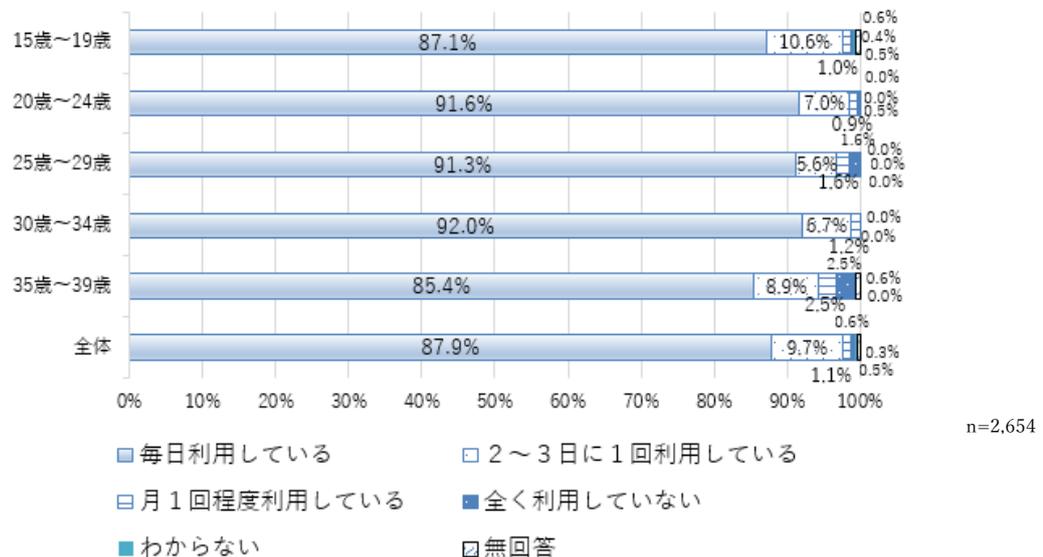
Facebook の利用については、全体では「毎日利用している」が1.5%、「2～3日に1回利用している」が2.2%、「月1回程度利用している」が4.0%、「全く利用していない」が88.8%となっている。年齢別にみると、35歳～39歳の年代において、「毎日利用している」が最も多く7.0%となっている。

Instagram



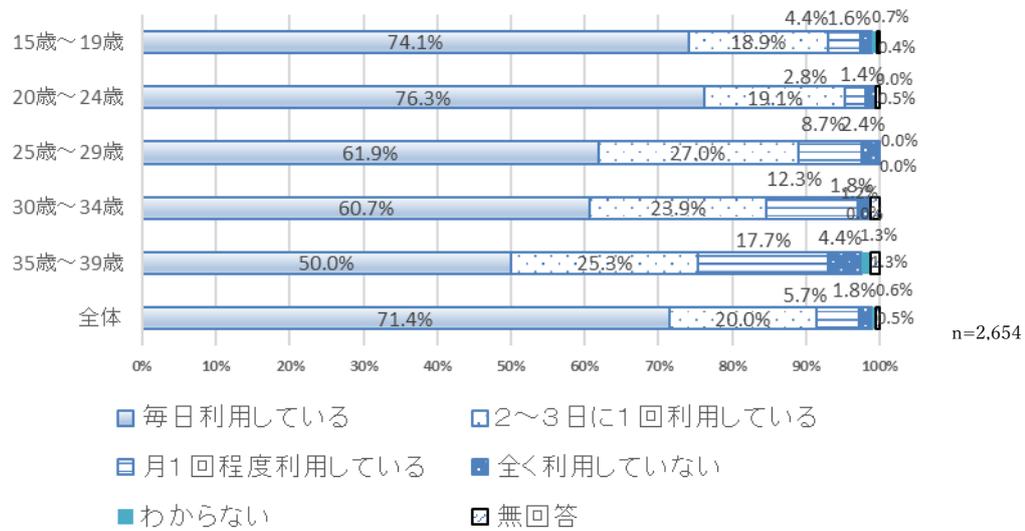
Instagram の利用については、全体では「毎日利用している」が 68.8%、「2～3日に1回利用している」が 11.6%、「月1回程度利用している」が 3.9%、「全く利用していない」が 14.8%となっている。年齢別にみると、20歳～24歳の年代において、「毎日利用している」が最も多く 74.4%となっている。

LINE



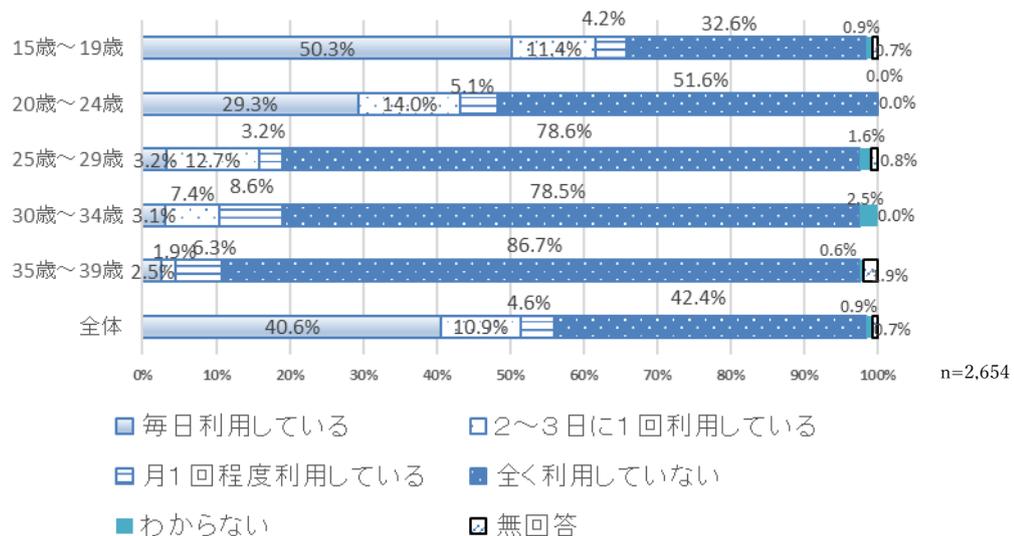
LINE の利用については、全体では「毎日利用している」が 87.9%、「2～3日に1回利用している」が 9.7%、「月1回程度利用している」が 1.1%、「全く利用していない」が 0.6%となっている。年齢別にみると、30歳～34歳の年代において、「毎日利用している」が最も多く 92.0%となっている。

YouTube



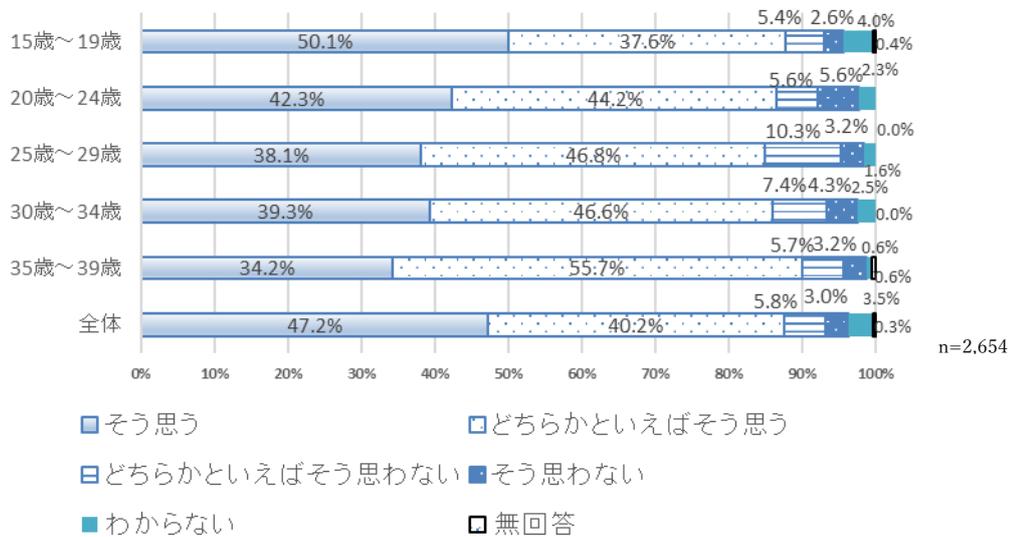
YouTubeの利用については、全体では「毎日利用している」が71.4%、「2～3日に1回利用している」が20.0%、「月1回程度利用している」が5.7%、「全く利用していない」が1.8%となっている。年齢別にみると、20歳～24歳の年代において、「毎日利用している」が最も多く76.3%となっている。

TikTok



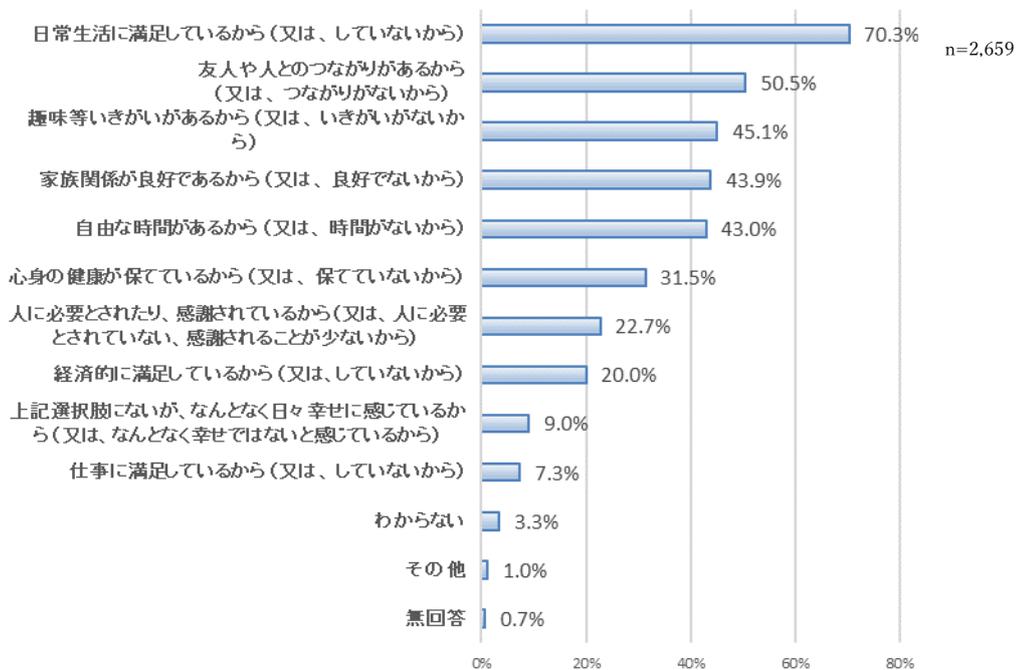
TikTokの利用については、全体では「毎日利用している」が40.6%、「2～3日に1回利用している」が10.9%、「月1回程度利用している」が4.6%、「全く利用していない」が42.4%となっている。年齢別にみると、15歳～19歳の年代において、「毎日利用している」が最も多く50.3%となっている。

問 15 あなたは今幸せだと思いますか。



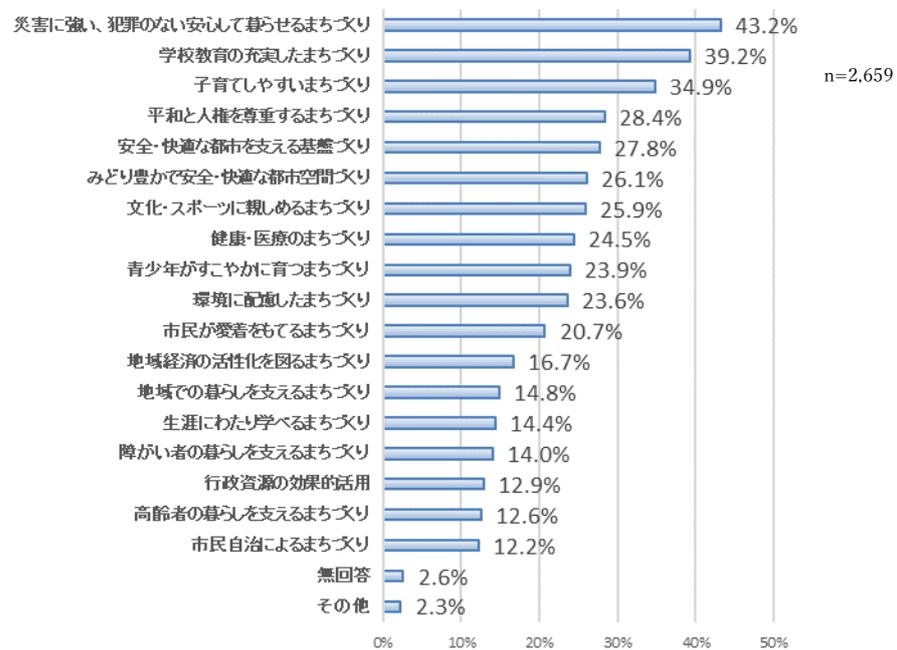
“今幸せだと思うか”について聞いたところ、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）という回答者は、いずれの年齢層においても8割を上回っている。

問 16 設問 15 の回答を選んだ理由はどれですか（複数回答可）。



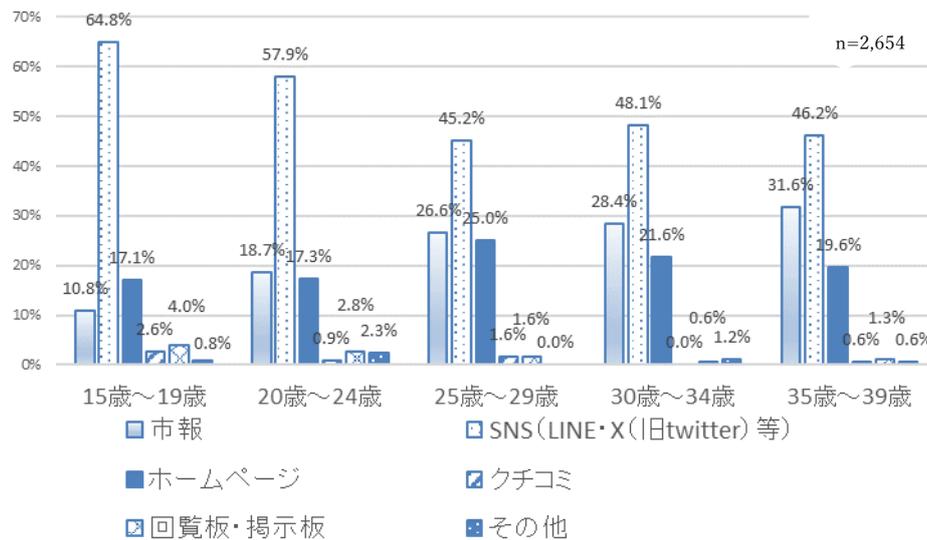
“設問 15 の回答を選んだ理由”について、「日常生活に満足しているから（又は、していないから）」（70.3%）が第1位にあげられ、以下「友人や人とのつながりがあるから（又は、つながりがないから）」（50.5%）となっている。

問 17 吹田市が取り組んでいることで力を入れてほしいこと、又は取り組んでほしいこと（複数回答可）。



“吹田市が取り組んでいることで力を入れてほしいこと、又は取り組んでほしいこと”について、「災害に強い、犯罪のない安心して暮らせるまちづくり」（43.2%）が第1位にあげられる。

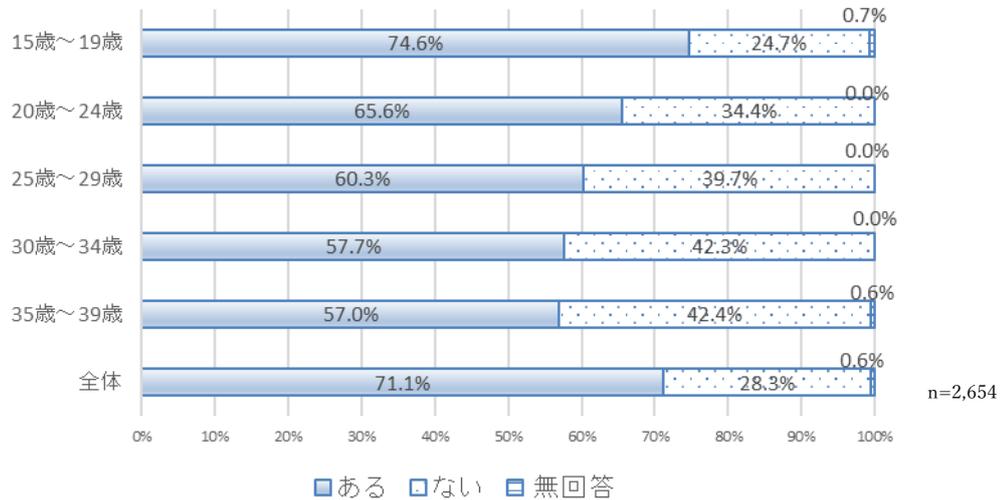
問 18 市役所の行っている事業や情報の一番受け取りやすい方法について



“市役所の行っている事業や情報の一番受け取りやすい方法”について、市報は年齢が高い層ほど高い傾向がみられ、35歳～39歳で31.6%となっている。SNS（LINE・X（旧twitter）等）は年齢が低い層ほど高い傾向がみられ、15歳～19歳で64.8%となっている。

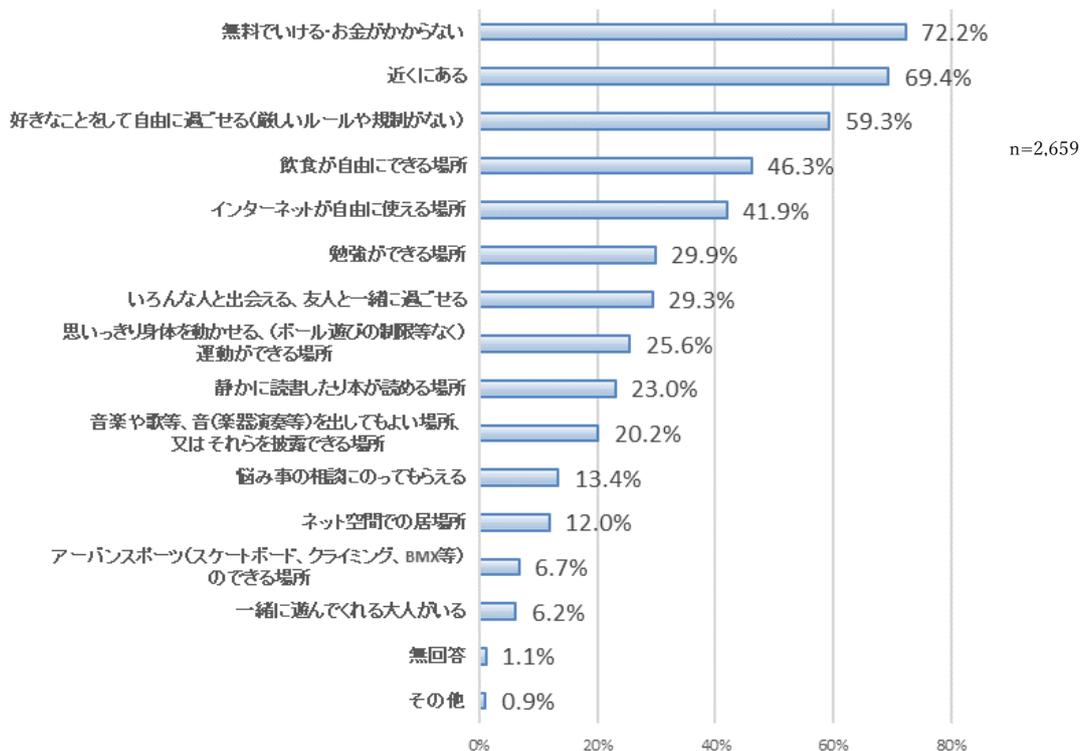
居場所

問 19 家（暮らしている場所）や学校（授業や生活、クラブ活動）又は職場以外にほっと安心できる居場所
 がありますか。



“ほっとできる居場所があるか”について、「ある」と回答した人は、年齢層が低いほど高くなっており、15歳～19歳では74.6%となっている。

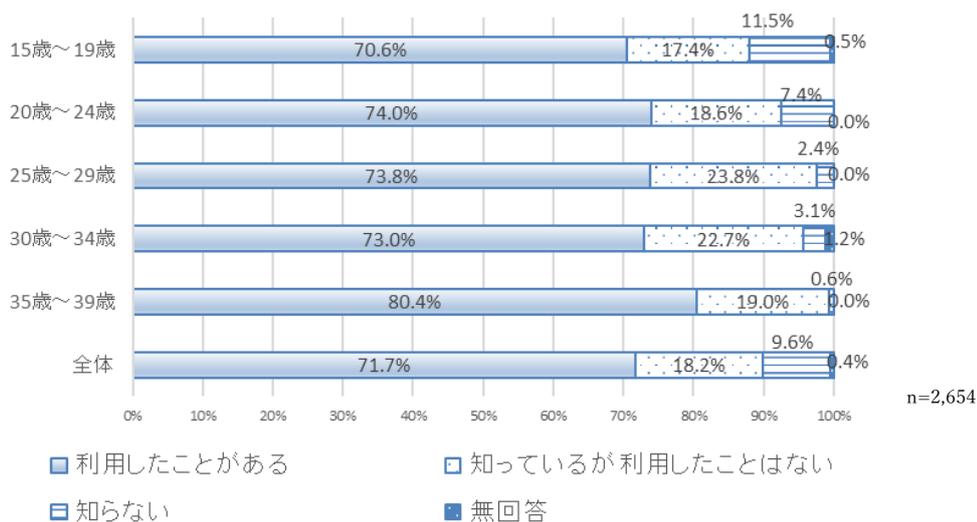
問 20 どのような居場所であれば利用したいですか（複数回答可）。



“どのような居場所であれば利用したいか”について、「無料でいける・お金がかからない」（72.2%）が第1位にあげられ、次いで「近くにある」（69.4%）の順となっている。

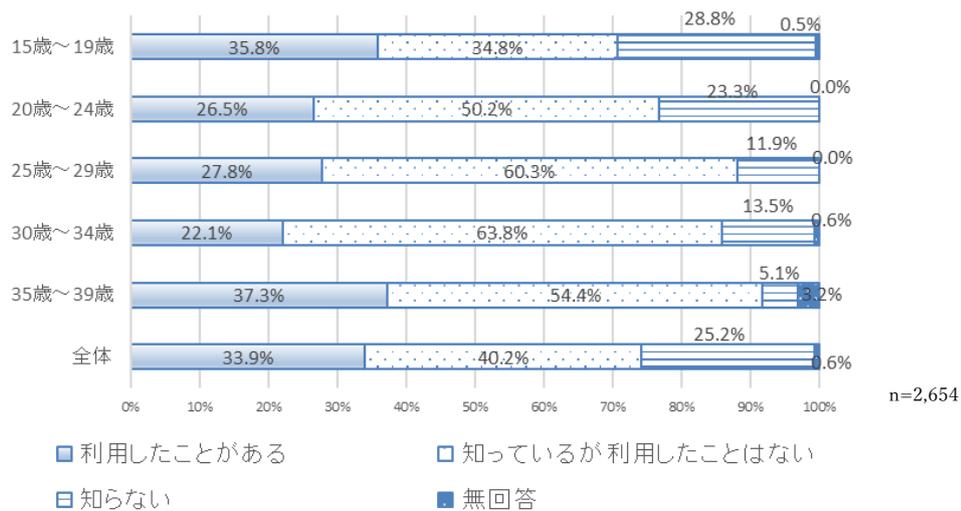
問 21 公共施設の利用状況について

図書館



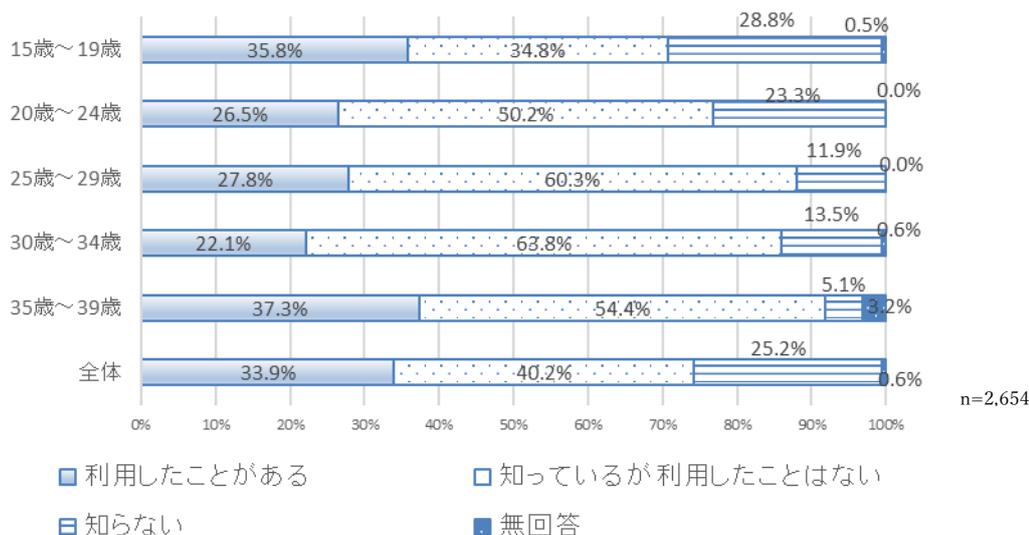
図書館の利用について、全体では、「利用したことがある」が71.7%、「知っているが利用したことはない」が18.2%、「知らない」が9.6%となっている。

公民館



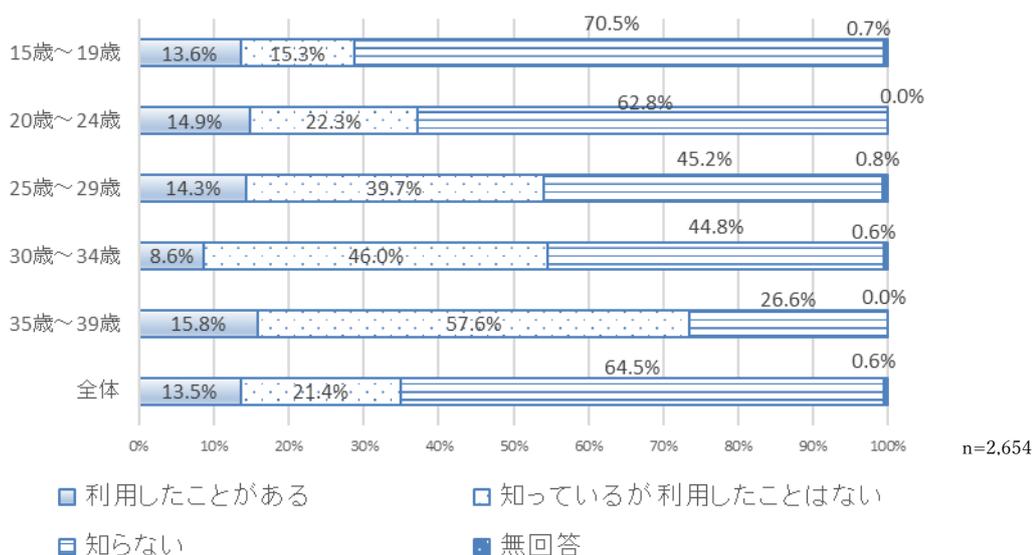
公民館の利用について、全体では、「利用したことがある」が33.9%、「知っているが利用したことはない」が40.2%、「知らない」が25.2%となっている。

自然体験交流センター(わくわくの郷)



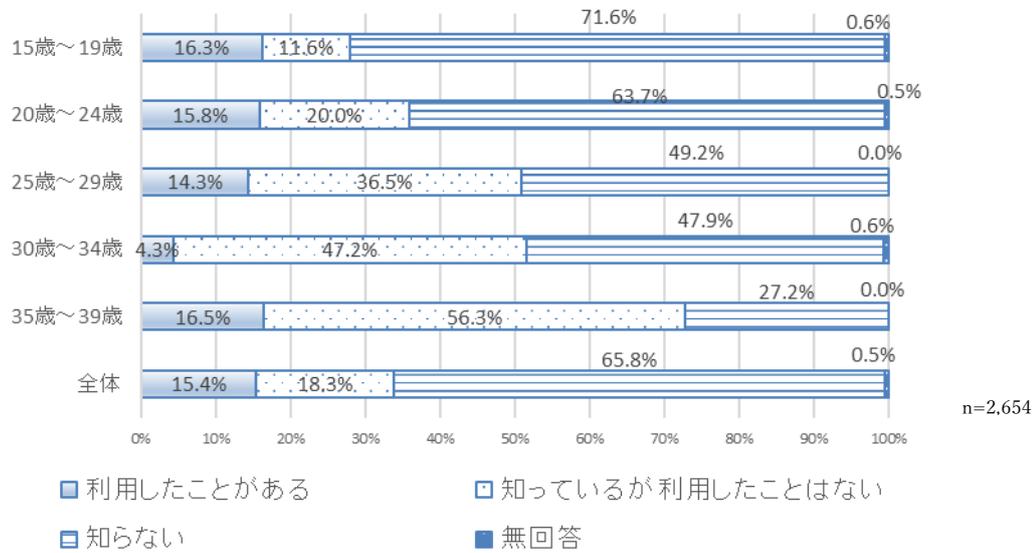
自然体験交流センター（わくわくの郷）の利用について、全体では、「利用したことがある」が33.9%、「知っているが利用したことはない」が40.2%、「知らない」が25.2%となっている。

自然の家(もくもくの里)



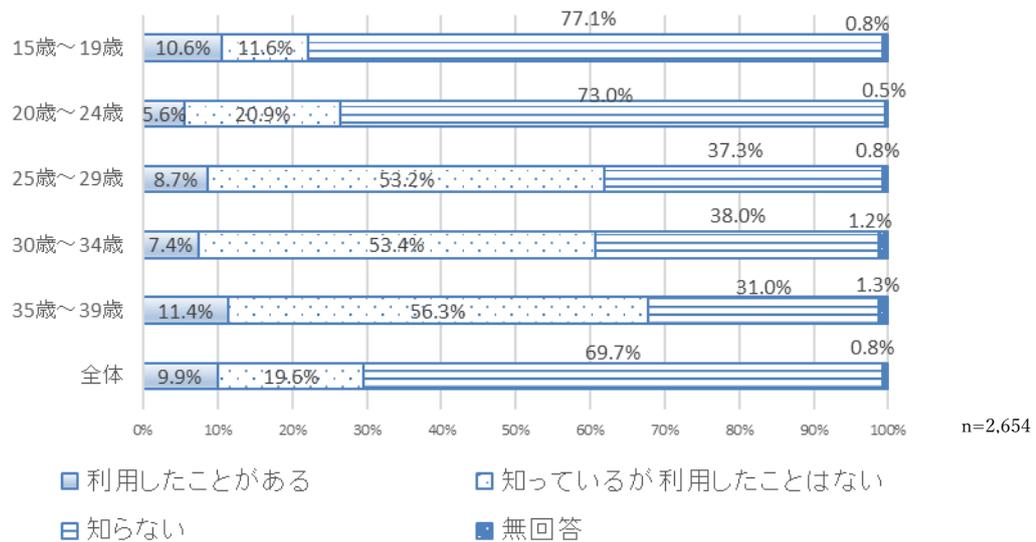
自然の家（もくもくの里）の利用について、全体では、「利用したことがある」が13.5%、「知っているが利用したことはない」が21.4%、「知らない」が64.5%となっている。

子育て青少年拠点夢つながり未来館(ゆいぴあ)



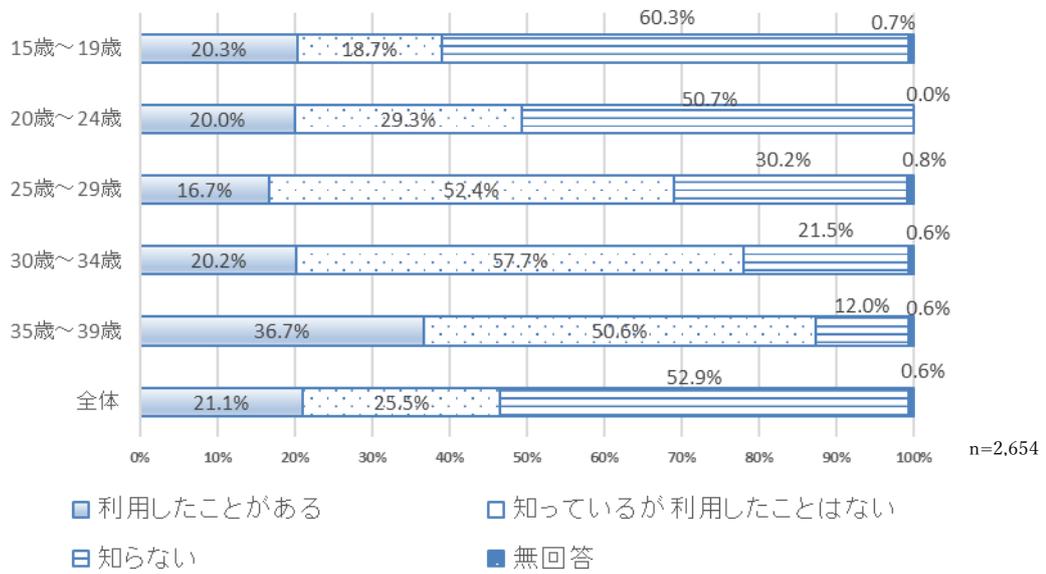
子育て青少年拠点夢つながり未来館(ゆいぴあ)の利用について、全体では、「利用したことがある」が15.4%、「知っているが利用したことはない」が18.3%、「知らない」が65.8%となっている。

青少年クリエイティブセンター



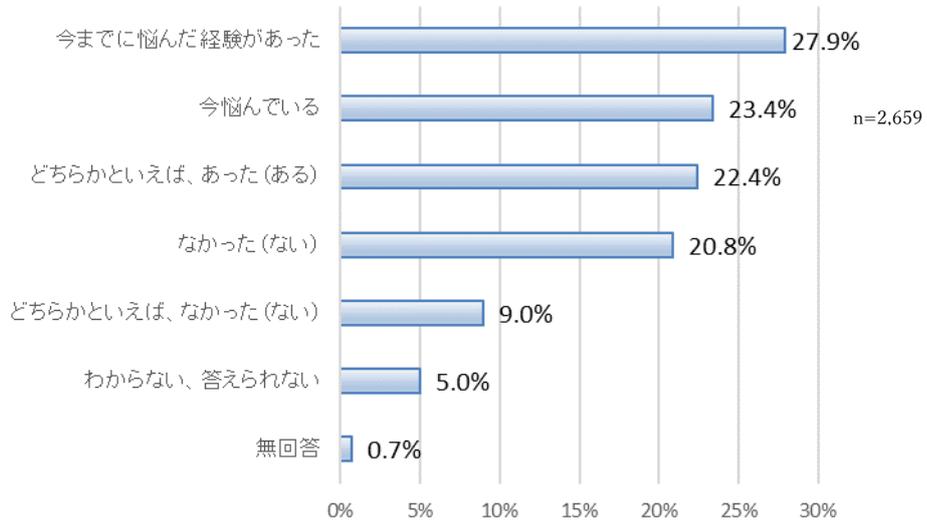
青少年クリエイティブセンターの利用について、全体では、「利用したことがある」が9.9%、「知っているが利用したことはない」が19.6%、「知らない」が69.7%となっている。

児童会館・児童センター



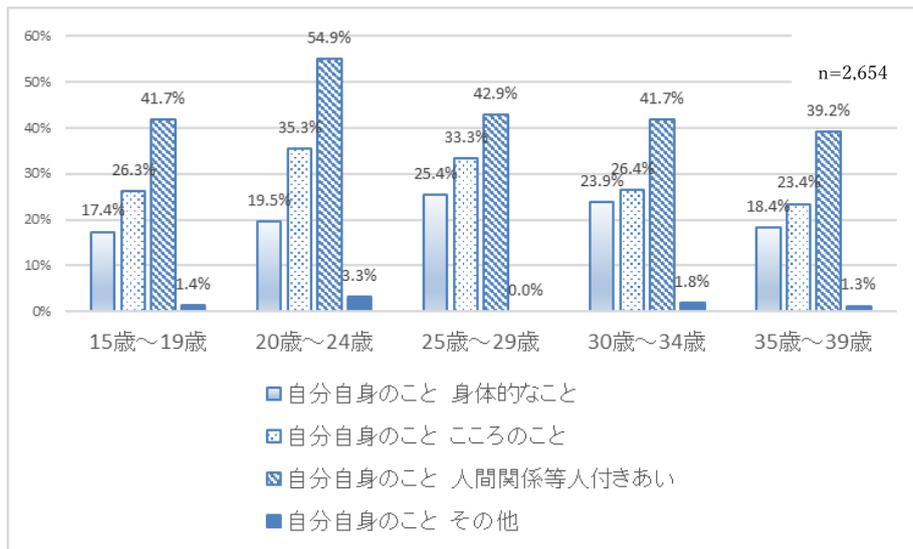
児童会館・児童センターの利用について、全体では、「利用したことがある」が21.1%、「知っているが利用したことはない」が25.5%、「知らない」が52.9%となっている。

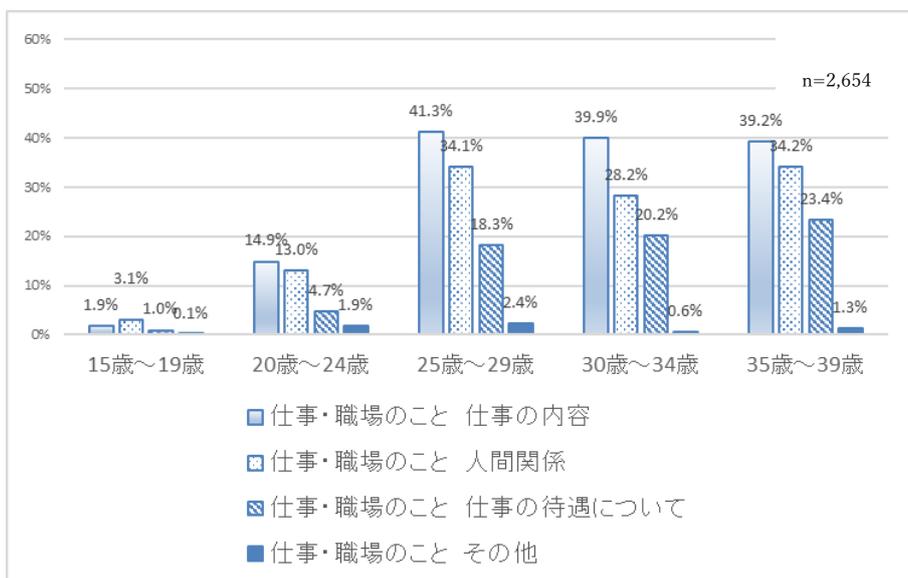
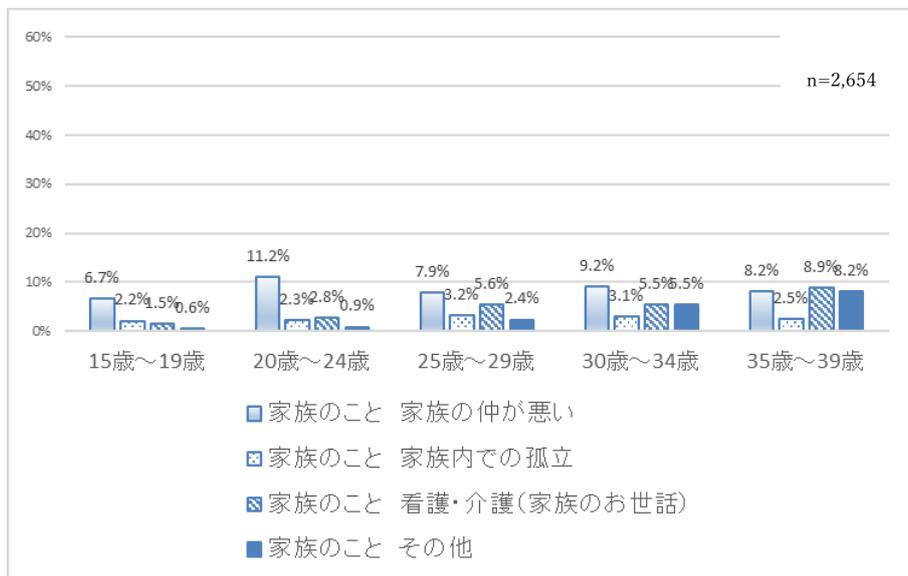
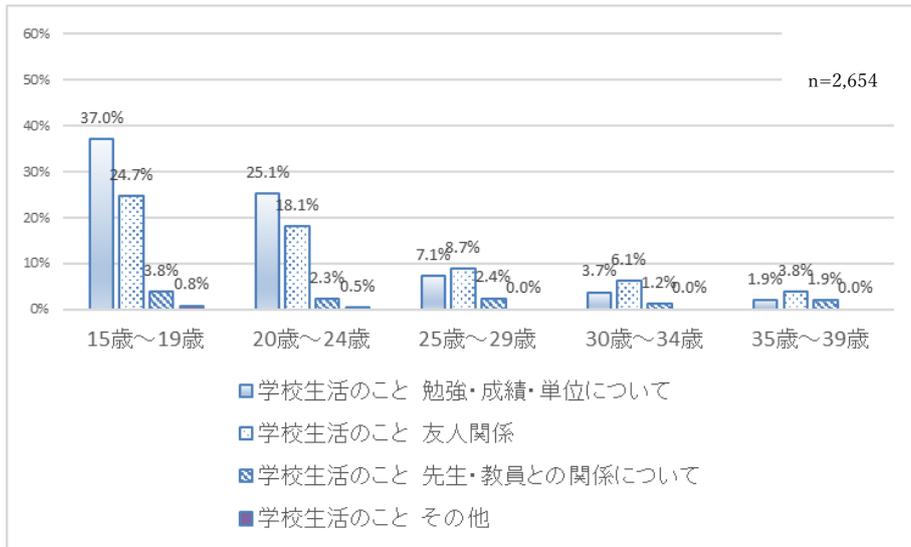
問 22 社会生活や日常生活で上手くいかなかったり悩んでいることはありますか（複数回答可）。

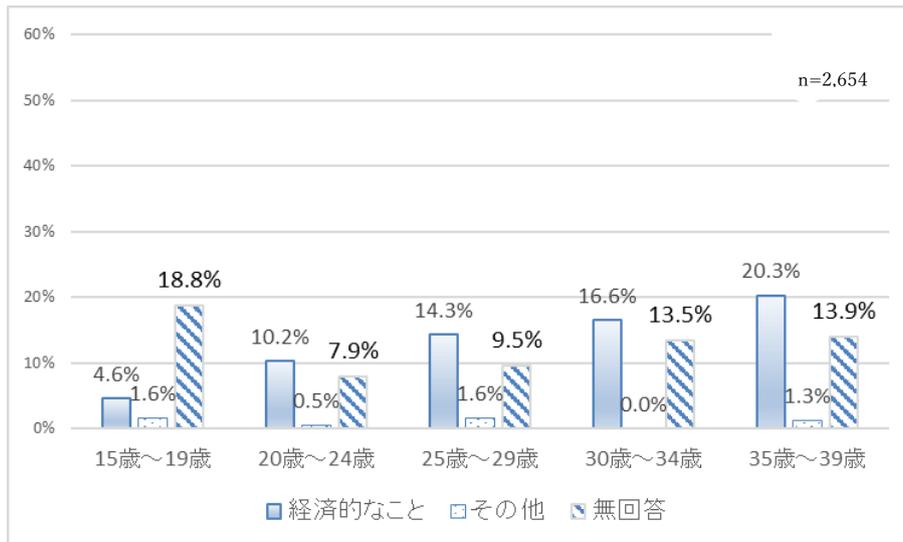


“社会生活や日常生活で上手くいかなかったり悩んでいることはあるか”について、「今までに悩んだ経験があった」(27.9%)が第1位にあげられ、次いで「今悩んでいる」(23.4%)の順となっている。

問 23 そうした問題を体験した、又は現在体験している主な原因は何ですか（複数回答可）。

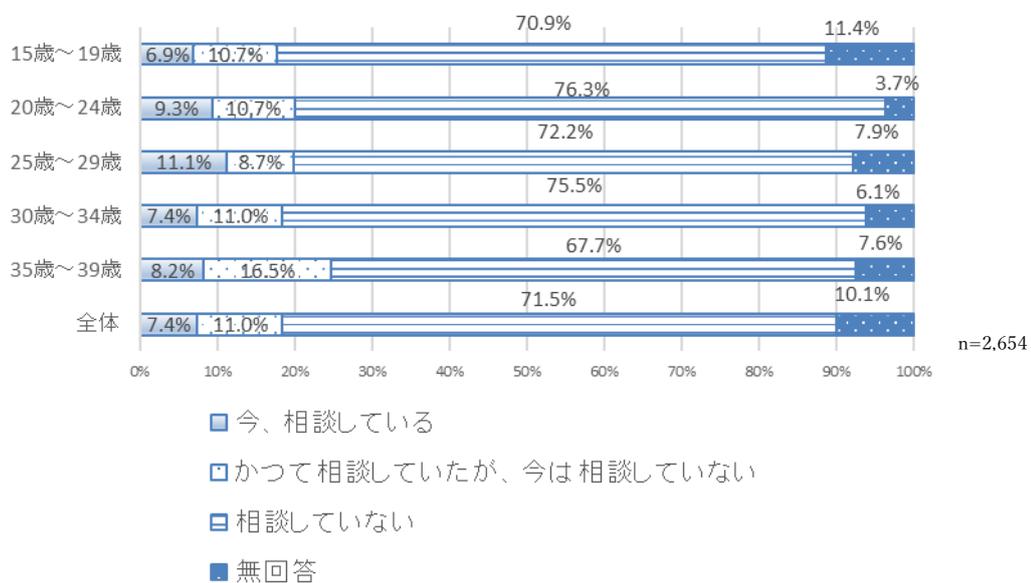






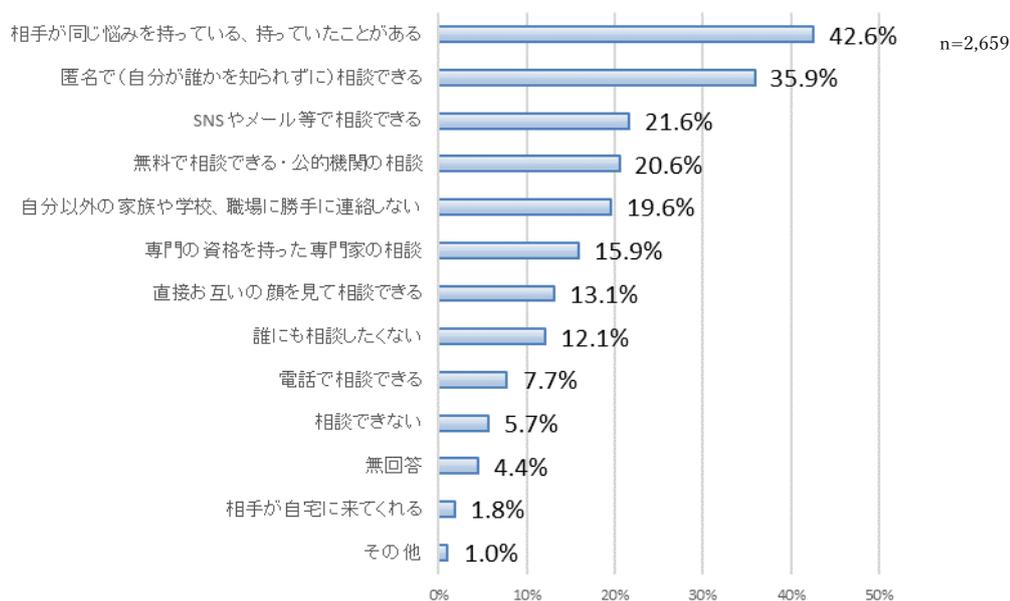
そうした問題を経験した、又は現在経験している主な原因は何かについて、年齢別にみると、15歳～19歳では、「学校生活のこと 勉強・成績・単位について」が最も多く、20歳～24歳は「自分自身のこと 人間関係等付き合い」、25歳～29歳では「自分自身のこと 人間関係等付き合い」、30歳～34歳では「仕事・職場のこと 仕事の内容」、35歳～39歳では「自分自身のこと 人間関係等付き合い」と「仕事・職場のこと 仕事の内容」が最も多くなっている。

問 24 現在悩んでいることについて相談機関に相談していますか。



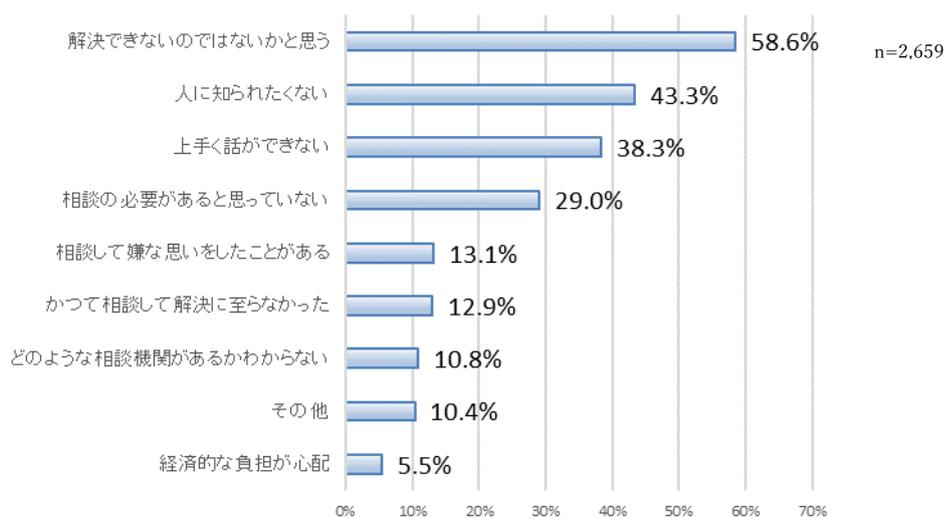
現在悩んでいることについて相談機関に相談しているかについて、全体では「今、相談している」が7.4%、「かつて相談していたが、今は相談していない」が11.0%、「相談していない」が71.5%となっており、25歳～29歳の年代において「今、相談している」が最も多く11.1%となっている。

問25 社会生活や日常生活において上手くいかないときや悩んだときに、家族や知り合い以外に相談するとすれば、どのような人や場所なら、相談したいと思いますか（複数回答可）。



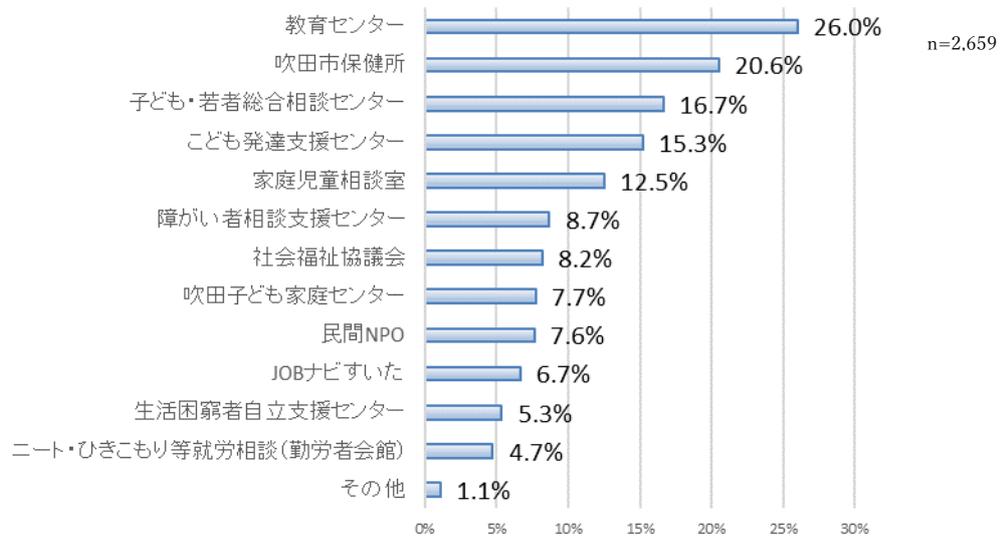
「相手と同じ悩みを持っている、持っていたことがある」が最も多く、42.6%となっている。次いで「匿名で（自分が誰かを知られずに）相談できる」が35.9%となっている。

問26 問25で「誰にも相談したくない」、「相談できない」を選んだ人は、その理由は何ですか（複数回答可）。



「誰にも相談したくない」「相談できない」を選んだ人の理由は、「解決できないのではないかとと思う」が最も多く58.6%となっている。次いで、「人に知られたくない」が43.3%となっている。

問 27 次の相談機関のうち知っている相談機関はありますか（複数回答可）。



“知っている相談機関”については「教育センター」が26.0%で最も高く、以下「吹田市保健所」（20.6%）、「子ども・若者総合相談センター」（16.7%）の順となっている。